

第 23 回介護・医療フォーラム開催されました

2022 年 12 月 26 日

2022 年 11 月 24 日に「第 23 回介護・医療フォーラム」が開催されました。姫路キャスパホールをメイン会場にオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で進行されました。

基調講演は認知症看護認定看護師の 当法人 共立病院 小西 正寛 氏から『認知症になっても自宅で暮らし続けるために』というテーマ認知症についての知識や考え方、活用できる社会資源などについて話していただきました。

パネルディスカッションでは西村 哲範 理事長(兼 共立病院院長)を座長に、3 名のパネリストが専門職としての実践や認知症介護の当事者としての体験談を話していただきました。

会場及びオンラインでご参加いただいた皆様に深くお礼を申し上げますとともに、今回のフォーラムを通じて私たちの法人理念である「その人らしく、気持ちよく生きる」ために大切な事とは何か、を考えていただく一助になれば幸いです。

講演・パネルディスカッションの概要

- ・ 認知症の予防は日ごろの生活習慣（食事・活動等）、基礎疾患などがかかっている。規則正しい生活、社会参加が大事。
- ・ 認知症かどうか心配だというときはとにかく相談（身近な人、地域包括支援センター、かかりつけ医など言いやすいところ）、誰が聞いてもよい。早期発見早期対応がよい。
- ・ 認知症は程度も特徴も人それぞれ。言葉だけ聞いてレッテルを貼るのではなく、「その人」のことをよく知り理解した上で、みんなで少しずつ関わるのがよい。
- ・ 認知症の方にとっての安心できる環境で過ごせるのがよい。人としての尊厳が要る。
- ・ 介護する立場の方の健康も認知症介護の重要なポイント（一人で抱え込まない）。

アンケートのコメントより

- ✚ 高齢者だけで住まれている方は何かあっても相談する場がなくて困ることもあると思います。私たちが困ったら相談できる場所があると伝えていければいいなと思います。
- ✚ 認知症状の対応だけを考えるのではなく、なぜそのような行動を起こすのか、意味を探りながら対応していくことが必要だと感じた
- ✚ 今回の講演をお聞きするまで“認知症認定看護師”を知らなかったのですが、今までの事例などを聞くと認知症の方に寄り添い考えられていて、勉強になる事ばかりでした。また、認知症の方への対応

など、正解はないんだ、認知症という病気は深いものだと改めて感じました。

- ✦ 特定検診等で認知症の診断はなくても簡易検査でもできるようになればいいと思いました。今後 5 人に 1 人が認知症になるとのことで、もっと理解のある地域・社会になればよいと感じました。
- ✦ 事業所の皆さんの利用者様への優しい思いが分かりました。神田氏(パネリスト・家族介護の立場から)のお話は 1 人で介護をすることは、本当に大変なんだと思いました。自分のエンディングノートを作り、子どもには伝えておかないといけないなと思いました。

お問い合わせ先：姫路医療生協 地域サービス部
姫路市大善町 141 番地 ☎ 079-285-3399